

出来事（2017年5月）

1. 新規の食品添加物の指定

5月の新規指定はありません。

国際調和のアルミニウム含有食品添加物4品目についての状況は変わっていません。

- ・アルミノケイ酸ナトリウム（固結防止剤）
- ・ケイ酸アルミニウムカルシウム（固結防止剤）
- ・酸性リン酸アルミニウムナトリウム（膨張剤）
- ・カルミン（着色剤）

2. 規格基準の改正

- ・ステアリン酸マグネシウムの規格基準雄改正のWTO通報（5月24日）
- ・過酢酸及び過酢酸製剤の規格基準雄改正のWTO通報（5月31日）
- ・アスパラギナーゼ、亜セレン酸ナトリウム、オクタン酸、次亜臭素酸水、1-ヒドロキシエチリデン-1,1-次スルホン酸の規格基準雄改正のWTO通報（5月24日）
- ・アルミニウムの摂取量の低減化のために、硫酸アルミニウムカリウム（カリ明礬）及び硫酸アルミニウムアンモニウム（アンモニウム明礬）のパン及び菓子類への使用量を0.1g/kg以下に制限するための使用基準の改正が食品安全委員会で検討されています。5月29日の添加物専門調査会では継続審議とされました。

3. 第9版添加物公定書

3月10日の薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会食品添加物調査会です承されました。

3月8日の衆議院農林水産委員会で厚生労働省の食品安全部長は、「第9版に収載されない既存添加物は、152品目である」旨の回答をしました。

5月26日、厚生労働省は、斉藤和子衆議院議員事務所に、152品目のリストを提出しました。

4. 遺伝子組換え食品添加物

5月15日、組換えDNA技術応用食品及び食品添加物の安全性審査の手続きの一部改正が告示されました。

安全性審査が終了し公表された遺伝子組換え添加物（25品目）、安全性審査が終了した遺伝子組換え添加物リスト（73品目）、安全性審査継続中の遺伝子組換え添加物（9品目）（以下に記載、2017年4月25日現在）が公表されています。

エキソマルトテトラオヒドラーゼ（ダニスコ）、リパーゼ（ノボザイム）、ホスホリパーゼ（DSM）、グルコアミラーゼ（ノボザイム）、キモシン（野澤組）、L-グルタミン酸ナトリウム（味の素）、L-アラニン（武蔵野化学）、L-アルギニン（味の素）、リボフラビン（DSM）

*企業名は、報告書作成者による簡略名です。

5. 機能性表示食品の届出

消費者庁のホームページ「機能性表示食品に関する情報」に掲載されている939品目を、消

費者庁の区分に従って集計すると以下のようになります。

2015年度

サプリメント	その他加工食品	生鮮食品	合計
145品目	162品目	3品目	310品目

<http://www.caa.go.jp/foods/index23.html>

2016年度

サプリメント	その他加工食品	生鮮食品	合計
271品目	344品目	5品目	620品目

<https://www.fld.caa.go.jp/caaks/cssc01/>

2017年度

サプリメント	その他加工食品	生鮮食品	合計
1品目	8品目	0品目	9品目

<https://www.fld.caa.go.jp/caaks/cssc01/>

6. 原料原産地表示

加工食品の原料原産地表示制度について、「食品表示基準の一部を改正する内閣府令（案）」について、パブコメも完了し、消費者委員会で審議されています。パブコメでは、反対意見が圧倒的に多いようです。食の安全を損なう制度改正との指摘もあります。

7. 食品の放射能問題

（原子力災害対策特別措置法第20条第2項の規定に基づく食品の出荷制限）

- ① 福島県、青森県、岩手県、宮城県、山形県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県の特定の動植物の出荷が制限されている(5月23日現在)。
- ② 今月は、新たな出荷制限等はありませんでした。

8. EFSA スクラロースのマウス発がん研究の結論の妥当性

5月8日、EFSAは、Ramazzini研究所が行ったスクラロース（E955）のマウス発がん研究の結論の妥当性について、Soffrittiらの結論を支持しないとの声明を公表しました。

<http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2903/j.efsa.2017.4784/epdf>

9. 米国FDA 果物ジュース、野菜ジュースを食用色素としての認可のガイダンスの取下げ

5月12日、FDAは、野菜ジュースを食用色素としての認可のガイダンス（案）を取下げると発表しました。これまでのように、ケースバイケースで対応するとしています。

<https://www.fda.gov/Food/NewsEvents/ConstituentUpdates/ucm529497.htm>

10. 米国FDA メニュー表示順守日の延期で60日間のパブコメ

順守日を、2017年5月5日から2018年5月7日に延期することです。

<https://www.fda.gov/Food/NewsEvents/ConstituentUpdates/ucm554948.htm>

11. 英国国民保健サービス（NHS） 低グルテン食は心臓発作リスクに関連

流行のグルテンフリー食は、心臓疾患のリスクを増加させる可能性があるためセリアック病患者でない人にとっては、害になる可能性があると報じた。

<http://www.nhs.uk/news/2017/05May/Pages/Low-gluten-diet-linked-to-heart-attack-risk.aspx>

12. ビタミン C の安定確保に関する質問主意書

5月22日、伊藤孝恵参議院議員より、ビタミン C の9割を輸入している中国における環境規制の影響で、必要量を輸入できないのではないかと懸念からの質問主意書が出され、5月26日、政府より答弁書が提出されました。

<http://www.sangiin.go.jp/japanese/joho1/kousei/syuisyo/193/meisai/m193114.htm>

13. 輸入食品の違反事例

- ・株式会社ユニオンが米国から輸入した「生鮮ラズベリー」のモニタリング検査で、一律基準を超えてメトキシフェノジドが検出されが、全量販売済みとのこと。
*メトキシフェノジド：ベンゾイルヒドラジン系殺虫剤で、2012年にも米国から輸入された生鮮ブルーベリーのモニタリング検査で、一律基準違反があった。
- ・株式会社スウィートファクトリージャパンが米国から輸入した「キャンディー」の行政検査で、指定外添加物（黄酸化鉄）検出による成分規格不適合とされ、廃棄、積戻し等が指示されました。

（作成：2017年6月2日）